

農地を守る集落営農ステップアッププラン

～集落の総意で築く集落営農を目指して～

事業実施主体名	糸白見集落営農準備会		住所	若桜町
プラン認定日	平成18年7月12日	プラン期間	平成18年～平成22年	

1 プラン内容

(1) 概要

中山間地の実情に合った集落営農を実施し、組織を法人化することを目標に、既存の機械共同利用組織が集落内の農作業を受託し、高齢者の労働負荷軽減を図るとともに、農地を維持し耕作放棄地を増やさない取組を行った。

(2) 取り組みポイント

- 耕作放棄地の防止
- 機械の共同利用の推進
- オペレーターの確保・育成
- 集落営農組織の法人化
- 特産品の育成

(3) 事業の概要 (法人設立まで)

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H18	水稻防除機一式 (自走式ラジコン動噴、畦畔ノズル、ローリータ ンク500ℓ×2個、攪拌機、ジェットポンプ、 防除着、アルミブリッジ)	1,429	476	238
合 計		1,429	476	238

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状 (H24)
労働力 (雇用)	0 人	専任オペレーター 3 人 (4 人役)
経営内容・規模	0 h a	(H20 年 2 月法人化) 利用権設定：5 h a 内、水稲作：4. 5 h a 基幹作業受託：3. 8 h a (延べ) 防除作業受託：3. 5 h a (延べ)

(2) 成果

1 目標(H22)と実績(H20：法人設立年) ※法人設立(H20.2)以降は別プラン

○耕作放棄地の防止

目標：耕作放棄地面積 33 a (現状を維持)

実績：耕作放棄地面積 0 a

○機械の共同利用の推進

目標：水稲基幹作業受託面積 9 h a (延べ)、水稲防除受託面積 14 h a (延べ)

実績：水稲基幹作業受託面積 3. 4 h a (延べ)、水稲防除受託面積 4 h a (延べ)

○オペレーターの確保・育成

目標：3 人

実績：3 人

○集落営農組織の法人化

目標：平成 20 年 4 月

実績：平成 20 年 2 月 26 日 (農事組合法人糸白見)

○特産品の育成

目標：ギンナン販売量 750 k g

実績：ギンナン販売量 H19：620 k g、H20：644 k g

※参考 H21：550 k g、H22：766 k g、H23～24：収穫皆無

(※H22 収穫後にシカによる食害でほぼ壊滅状態)

2 経営改善の実績

任意組織を法人化

3 産地の活性化状況 (栽培面積、生産量)

法人設立年の水田経営面積：3. 0 h a (内、水稲作 2. 1 h a)、構成員 10 名



現在(H24)の水田経営面積：5. 0 h a (内、水稲作 4. 5 h a)、構成員 14 名

4 更なる経営発展方向

○水稲作の省力化を進めることにより、法人経営面積の拡大を図る。

○水田の漏水対策の実施による水稲収量の向上により、法人経営の安定化を図る。

○地元酒造場との酒米の契約栽培への取組を進める。

[八頭総合事務所農林局]